

昭利 議会だより

第

45

号

平成20年1月25日 12月定例会



新年のごあいさつ.....	2
12月定例会で決めたこと	3
村の姿勢を問う 5名が一般質問.....	6
追跡シリーズ あの問題は今.....	11
中学生模擬議会.....	14
聞きたい知りたいみんなの声.....	17



議長
長

治田 貞賢

新年あけましておめでとうございます。村民の皆様にはご家族おそろいで、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は年金問題や食品偽装問題、石油の高騰等、国民生活に不安が広がり多くの課題が残されました。

群馬県においては知事の交代、本県から4人目となる総理大臣が誕生し、国の安定と地方に目を向けた政策に大いに期待するところでもあります。

本村においては工業団地に進出した3社の操業が開始され、村内からも多くの雇用がありました。残りの用地も販売契約が調い、今後の事業の開始と拡大に期待するところです。

農業の面では、野菜、こんにゃく芋等、農産物全体では大きな暴落もなく、まずまずの年であったと思います。村内の商工業者にとっては、個人消費は

伸びず村の公共事業の削減もあり、決して平坦ではありませんでした。

本年は合併50周年の節目の年でもあり、記念事業も計画されています。平成の大合併では、利根沼田地域の中で川場村、片品村と本村の3村が自主自立の道を選びました。昨年11月には、

長年の件案であった広域圏の負担割合も決着しました。地方交付税の減少により、厳しい財政状況に変わりはありませんが、12月定例会において、中学3年生までの医療費の無料化を採択しております。安心して子育てができる環境づくりにより、少子化対策の一助になればと思っております。

人にやさしい村づくりのため議員全員で取り組んでまいりますので、村民の皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます、新年のごあいさついたします。

あけましておめでとうございます



副議長
長

金子松二郎

あけましておめでとうございます。村民の皆様には希望に満ちた新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、5月に一部地区に降雹による被害があったものの、県西毛地区に甚大な被害をもたらした台風9号では、本村には大きな被害もなく安堵いたしましたところであります。

農業においては、こんにゃく、野菜など基幹作物の価格もまずまずの年であったと感じております。

また、県内では16年間続いた小寺県政から大澤県政への交代、そして国内では郷土群馬から4人目の総理大臣が誕生するなどめまぐるしく変わりました。福田総理には依然厳しい財政状況の中「行財政改革を進めながら地方を大切にしていこう」と、その方向が示されております。国・県政を担うトップお二人には、地方の活性化を図るた

めの手腕を大いに期待するところであります。

村の発展を期待して県とともに進めてきました閑屋工業団地50ヘクタールもようやく完売でき、昨年からの3企業が新たに操業を開始され、今後の本稼働に向け期待をしております。

千年の森には、民間によるサッカークラブがオープンし、都市部からの若者の出入りも大変多くなり活気づいてきました。これから、少子化対策や若い人たちの職場を確保し、定住できる環境整備に取り組んでいかなければ、村の発展はありません。本村は、今年合併50周年を迎えます。今後大きくはばたける時代がくることを確信しております。

村民一丸となつて、この厳しい状況を乗り越え、努力し歩んでいこうではありませんか。皆様方のますますのご健勝とご多幸を祈念申し上げます、年頭のごあいさついたします。

定例会

12月定例会

条例の一部改正

期末・勤勉手当を0・05月分アップ

昭和村議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例

平成19年人事院勧告に準じて、議員、特別職の期末手当を0・05月分引き上げるもの。

昭和村特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例

昭和村職員の給与に関する条例

また、職員の配偶者以外の扶養親族に係る扶養手当を6,000円から6,500円に、勤勉手当を0・05月分引き上げるなど。

(全員賛成)

教育委員に林氏



はやし よしゆき
林 美之氏
(大河原)

昭和村教育委員会委員の任期満了に伴い、林美之氏が選任されました。任期は平成20年1月18日から4年間です。
(全員賛成)

12月定例会は、12月7日から14日までの8日間の会期で開催されました。人事案件、条例改正、補正予算などの議案9件と、意見書1件が上程され、いずれも原案のとおり可決しました。

最終日の一般質問では5議員が登壇し、地産地消や望郷ラインの延長、シカの駆除対策、学校区の変更、第2工業団地構想などについて、村の姿勢を問いました。

補正予算

一般会計 4,735万3千円を追加

総額 33億4,799万2千円 (全員賛成)

補正の主な内容【歳入】

・軽石売払収入 1,500万円

・清掃施設組合18年度精算に伴う還付金 502万円

補正の主な内容【歳出】

・案内看板等設置工事 421万円

・農地災害復旧工事 90万円

・総合福祉センター修繕料 350万円

・民間保育所運営委託料 536万円

・こんにやく経営安定対策事業 198万円

・小規模土地改良事業(川額下り地区農道整備) 245万円

・広域消防費負担金 1,202万円

国民健康保険事業特別会計

52万2千円追加

総額

10億196万5千円

(全員賛成)

農業集落排水事業特別会計

703万3千円追加

総額

3億2,971万4千円

(全員賛成)

発議

道路特定財源の一般財源化反対に関する意見書を可決

道路特定財源を一般財源化することなく地方への配分割合を引き上げるよう、国の関係機関に意見書を提出しました。
(賛成10・反対1)

その他

利根沼田広域市町村圏振興整備組合の共同処理する事務の変更及び組合規約の変更に関する協議について

利根沼田広域市町村圏振興整備組合の共同処理する事務から、整備計画が完了した特別養護老人ホーム建設費補助に関する事務を削るため、規約を変更するもの。
(全員賛成)

和解及び損害賠償額の決定について
(全員賛成)

中学生までの医療費無料化を採択

総務民生常任委員会

12月11日に行われた総務民生常任委員会では、付託された請願・陳情について審査を行いました。

「憲法9条を守る決議」を求める請願については、戦争のない平和

な21世紀を築くことは大切なことですが、地方議会において憲法9条を論ずることはなじまないことや、国レベルの問題であるなどの意見から、全会一致不採択となりました。



横断歩道の設置要望が出された県道下久屋沢川線（三ツ谷地区）



医療費無料化中学生まで拡充へ

全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願書では、全額国庫負担での最低年金制度の創設が実現できれば理想的ですが、現在の年金保険料の納付の実態や国の財政状況等を考慮すると無拠出での実現は難しい状況であることから、全会一致不採択としました。

「子どもの医療費無料化を中学生まで拡充

を求める請願」では、現在、県においては医療費の無料化を、入院は5歳以下から中学校卒業まで、通院は3歳未満から小学校就学前まで引き上げる制度の改善をしようとしています。村当局でも、すでに入院・通院を含めて無料化の対象を中学校卒業まで引き上げること検討しているとのことであり、少子化対策の一環として、安

心して子育てができる環境が必要とことから、全会一致採択としました。

ただし、医療費自己負担分の支払い方法は、今回採択をした中学生については、医療機関において一時自己負担分を支払い、申請により村が償還する償還払い方式で実施するようお願いしました。

P T A 連絡協議会からの三ツ谷地区昭和スレート付近県道への横断歩道設置の要望については、昭和インターチェンジの開通により交通量が多く、歩行者の安全確保のため、横断歩道の設置は必要とし、当局から公安委員会に要望していただくようお願いしました。

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員名	付託委員会	審議結果
25	H19.11.27	請願書 村道下阿曾2号線道路舗装工事のお願いについて	吹張区長 渡邊 健一郎	高橋幸一郎 倉澤 俊雄	文教産建	採択
26	H19.11.29 (郵送)	障害者自立支援対策の充実を求める陳情	群馬介護保障を考える会 代表 松本 義久		配布のみ	
27	H19.11.29 (郵送)	自立支援法の出直しを求める意見書についての陳情	群馬介護保障を考える会 代表 松本 義久		配布のみ	

資材支給方式で道路舗装工事採択

文教産建常任委員会



村道下阿曾2号線の舗装が要望される

12月10日に行われた文教産建常任委員会では、付託された請願・陳情について審査を行いました。

昭和村黒土短歌会から提出されました「歌碑の建立に伴うお願い」についての陳情は、歌碑に刻まれる詩が赤城大地の情景を詠んだものであり、費用についても村に迷惑をかけないとのこと、面

積も畳1畳くらいの広さであることから全会一致採択としました。

吹張区長からの「村道下阿曾2号線道路舗装工事のお願い」についての請願は、雨水で路面が掘られ、通行に大変支障をきたしているのので早く整備をしてほしいとの要望です。地元区長、隣接する土地の所有者に協力をお願いし、村が資材を支

給して、地元住民自らが施工する資材支給事業により実施していただくことで、全会一致採択としました。

PTA連絡協議会からの村道森下赤城原線、叶屋たばこ店から南小学校へ向かう道路歩道部分へのガードレール設置の要望では、現地調査の結果、ガードレールを設置すると車の相互通行に支

障をきたすため設置は難しいことから、通学路の見直しや、大型車を進入禁止にするなどの対応を公安委員会と協議していただくよう当局にお願いしました。



南小学校通学路においてガードレールの設置が要望される

みなさんからの請願・陳情

自 平成19年8月23日 至 平成19年11月29日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
19	H19. 8.23	「憲法9条を守る決議」を求める請願書	憲法改悪反対利根沼田共同センター 加藤 貴	林 幸司	総務民生	不採択
21	H19. 8.27	陳情書 歌碑の建立に伴うお願い	昭和村黒土短歌会 会長 諸田義幸 外2名		文教産建	採択
22	H19.11.13	全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願書	全日本年金者組合群馬県本部執行委員長 関口昭三 外1名	林 幸司	総務民生	不採択
23	H19.11.19 (郵送)	地方切り捨てを許さず群馬県所在国土交通省事務所の存続を求める陳情書	国土交通省全建設労働組合関東地方本部群馬県協議会 議長 神保 悟		配布のみ	
24	H19.11.26	子どもの医療費無料化を中学校卒業まで拡充を求める請願書	昭和村若妻会連絡協議会 会長 加藤由香 外2名	金子松二郎 倉澤 俊雄	総務民生	採択

一般質問



夢のあるマニフェストを示して

村長 後援会と相談のうえ検討

問

村長の残してきた多くの職跡は、村内はもとより県内外に高く評価されています。まじめに一生懸命取り組む姿勢は誰もが認めるところですが、この8年間村長は、本心をなかなか言わないことが多く、時にはそのことが、リーダーシップがないと受け止められました。最優先しなければならぬ行政改革

答 村 長

がいまだ推進されていません。昭和村にとって夢のあるマニフェストを示してもらいたい。

後援会の皆さんとよく相談をした中で態度表明はしていきたいと思っています。当然その時には、マニフェスト等も公表はしていきたいと思っています。

問

地産地消と観光振興について

本村の学校給食を見たとき、日本一の農業村にふさわしい食育と地産地消が子供たちに提供できているかどうか、非常に疑問です。地元で採れた新鮮な食材を活用し、生産者との交流や生産現場での体験を通じて、感謝の念や郷土昭和村への愛着を育てることが重要であると思います。子供たちの食生活の乱れは、心の乱れにつながります。地産地消の推進を強く求めます。

答 教育長

館、さくら工房、商工会などが一致団結して積極的に昭和村の歴史、文化と農産物等をPRしていかなければならないと考えますが。

問

在宅介護について

国も県も在宅介護を進める方向であり、福祉全体の重点項目となっています。施設に入れば個人負担が極端に増え、村の介護保険料負担も大きくなりますが、在宅介護が多くなれば個人負担も、村負担も少なくなります。この当たり前のことに対して、村としてもっと手厚いサービスをしなければなら

答 村 長

ないと考えますが。

高齢者が住み慣れた自宅で末永く生活できるシステムの構築には、家族の協力が不可欠であり、地域の活力も必要となることを考えられます。関係者のご意見を聴きながら、良い方向へ進んでいきたいと考えています。

答 村 長

昭和村観光協会の設立については、村主導の組織に限らず商工会とも連携をとり、現在の組織コアとエネルギーを維持し、観光の中心となる商業と農業、スポーツが一体となるような組織づくりを模索していきたいと考えています。

また、情報化社会を迎えた現在は、経費をかけないで利益を生むチャンスはたくさんあると思いますので、村が中心となり昭和村観光協会を早急に立ち上げ、赤城高原農業観光協会、旬菜



倉澤 俊雄 議員



大久保沢に橋を

村長 現段階では難しい

問

桜原地区には、赤城西麓土地改良事業で基盤整備された農地約111・8鈔をはじめ、千年の森、山荘、ゴルフ場、サッカー場などの施設があり、大久保沢に橋を架け、村道望郷ライン線と永井桜線を接続することで、本村の地域農業の振興とともに観光等総合的な活性化が図れると思います。村の財政も大変厳しい状況ですが、望郷ラインの延長を地域の方々が強く要望しています。村長の考えをお聞かせください。

答
村長

大久保沢に橋を架け、永井桜線まで延長するのは、今の段階では大変かと思っています。今後、関係機関の指導を受けながら検討していきたいと思っています。

問

村道永井中野線は広域農道として、昭和45年から54年にかけて、当時の赤城村から利根村までの総延長20・7鈔、幅員7・5鈔で整備され、農業生産の向上や地域の生活道路として大きな役割を果しています。県道昇格することにより、補修工事や除雪費など維持管理面で経費の削減が図られ、村にとってプラスになると思います。

関係する沼田市、渋川市と連携をし、県道昇格に取り組むべきであると思うが、

答
村長

村長の考えをお聞かせください。

ご指摘のとおり、維持管理、除雪等に相当の経費がかかっています。村の観光及び企業の開発により増大する交通量に伴い、主要幹線としての機能を十二分に発揮して活用されていることから、今後関係各市と連携しながら県道昇格に向けて働きかけていきたいと思っています。

県道昇格に取り組むべきでは



望郷ライン終点（赤城高原サービスエリア東）

一般質問



中里 信幸 議員

国有林の農地転換が必要

村長 総合的に検討していく

問

地球温暖化の影響により、夏場の野菜栽培が難しくなっています。昭和村の高原野菜が消費者や市場、大手スーパーのバイヤーから信頼され、当てになる産地であるためにもさらに標高の高い農地が必要になると思うが、村長の考えを伺いたい。

答 村 長

本村の農業は、首都圏を中心とした生鮮野菜の供給基地として大きな役割を果たしています。今後は、農業者の皆様要望に応じて、国有林野の活用に関する法律に基づく諸条件等もごさいますので、その可否も含めた中で関係機関とも協議しながら、総合的に検討していきたいと考えています。



糸之瀬苗畑跡地

苗畑跡地の早期売渡しを

問

追分地区の糸之瀬苗畑跡地を入札により21・1畝取得しましたが、農家に売り渡す時期はいつごろになるのか。

答 村 長

平成20年度に調査、測量設計及び補助事業の採択申

請を行い、平成21年度及び22年度で区画整理や道排水路等の整備を実施する予定ですので、早くても平成22年度の下半期以降になると思います。なお、畑下の官舎については、もう少し早くなると思います。

シカの駆除対策は

問

村内にいるシカが繁殖を続けて、年々作物の被害面積が増加しています。これからのシカの駆除対策について伺いたい。

答 村 長

猟友会昭和支部の捕獲隊に協力を得て、猟期後も含めた中で、より効果的なシカ駆除の取組を検討してい

きたいと考えています。この冬、猟友会の皆さんにお願いして、地域を含めてシカ追いをやっていくというところでしたが、とても危険でできませんという話でした。これからも、いろいろな研究をしながら、より効果的な対応を考えたいと思っています。



高橋 昇三 議員



学校区の変更を

村長 努力していく

問

地域性や村内3小学校の児童数のバランス、昭和南学童クラブが定員オーバーの状況にあることなどから見ても、第一保育園は東小学校へ、第二保育園は大河原小学校へ、子育保育園は南小学校へ入学していただくのが妥当であると思うが。

答
教育長

就任当初、同じような考えから、第二保育園から全園児が大河原小へ入学する方が、保育園児の心情や小学校のバランスなどメリツトが多いだろうと考え、第二保育園の保護者と話し合ったことがあります。しかし、保護者の意見をまとめていくのには無理があり、子供中心に村が考えていくべきだと感じています。

答
村長

大河原小では複式学級に、南小では1クラスがいつぱいになるような状況ですので、そういうことがあります。この辺につきまし

ては努力していきたいと思っています。

赤城北麓受益地について

問

施設の老朽化が進み、埋設されている管の9割はアスベストが使用されている石綿管であり、長年の地形変化により、ロータリーで耕す際に破損する事故や自然庄によつて管が破損する事故など多発している現状です。また、水元の取水口にゴミがつかえて、季節によっては毎日ゴミを取り除きに行かなければなりません。

同地域は、赤城原畑総事業で農地保全と排水を目的に整備されましたが、水路兼道路は幅員が2・7メートルと狭く、設置されたアスカーブが破損して道路や畑に散乱し、雨が降ると水がたまるなど、問題



答
村長

を多く抱えています。基幹産業が農業の我が昭和村で、ますますの農業の発展と昭和村の繁栄を願う日夜頑張っている地域住民、昭和村の未来を考え早急な対応が必要と思うが。

現状を確認し、所有者、耕作者の協力を得ながら、拡幅の検討及び水たまりの解消等、必要に応じて対応していきたいと思っています。



林 幸司 議員

村長の「新工業団地構想」と、巨額な赤字が心配される進出企業による村財政への影響は

村長 新工業団地具体化へ、交付税影響額試算していく

問 村長の新たな工業団地構想の真意を伺いたい。3社進出に伴い、交付税削減などにより当面は巨額な赤字が推計されますが、村財政への影響について伺いたい。

答 村長 県が新規工業団地の候補

地を模索しており、県による造成を第1に、企業が独自に造成可能な情報も提供するなど、村のリスクを極力抑え、昭和インター周辺に限らず、第2、第3の工業団地について具体化できればと考えています。企業誘致奨励金は、固定資産税相当額を5年間交付

(補助)するもので、各企業とも相当な設備投資を行っていると思われるが、償却資産の申告が済んでいないため試算できない状況です。
*低工法による地方税減収

補てん措置が廃止され、村税の収入増加額の75%相当額の地方交付税が減額されることとなります。今後の影響額については、各課と調整をして試算していきたい。

低工法とは…低開発地域工業開発促進法の略。指定地区内において製造業を行うための事業設備を新設・増設した企業の固定資産税等が課税免除になるなど、税制上の優遇措置がある。昭和40年に沼田地区が指定され、本村内では5社が該当。平成17年3月をもって廃止された。

村50周年記念諸事業について

問 50周年の節目の年、現在の姿をきちんと記録し後世に残すとともに、早急に実行委員会を立ち上げ諸事業をすすめていただきたい。

答 村長

村誌作成には1億円もかかるので、財政状況を考慮し、村の歩みを見てわかりやすい写真集の発行に決定しました。

記念事業は、式典関係を総務課が、写真集は企画課と教育委員会ですすめて行きます。

妊婦健診の無料化拡充。後期高齢者医療制度の中止を

問 最低5回以上の公費による無料妊婦健診を実施していただきたい。

75歳以上の無料基本健診の継続と、75歳以上障害者の医療費無料化の継続を。現代版「姥捨て山」とも言われる制度の中止を求めます。

答 村長

出産までに14回程度の妊婦健診が必要ですが、現在2回無料を新年度予算では5回分を計上する予定です。

老人保健法に基づく全額公費による基本健診が廃止されますが、従来通り受診できるよう検討しています。

75歳前に障害者となった人には、従来通り福祉医療(医療費無料)制度に該当いたします。

後期高齢者医療制度は、国の医療制度改革により行われるもので、ご理解をお願いします。

あの問題は今…

追跡
シリーズ

2



議員が行う提言などは、村政にどう反映されているのか。皆さんからの請願や陳情は議会採択後どのように処理されているのか。その後の経過を追跡します。

荒れ地状態だった関屋工業団地



平成10年、昭和インターチェンジの供用開始に合わせて、県企業局により関屋工業団地3区画（約48[㍔]）が整備されました。村では、県と連携して企業誘致を推進し、平成11年にキヤノン電子(株)が操業を開始。残り2区画への企業誘致を推進するも、長年、草が生い茂る荒れた状態が続き、かつての優良農地が無惨な姿をさらしていました。

有志たちが立ち上がり、コスモスの花を咲かせて工業団地のイメージアップに奮闘。平成15年には昭和村企業誘致奨励金交付条例を制定し、優良企業の進出を待ち望んでいました。

新たに3社が操業開始



キヤノン電子(株)が進出してから8年。心配されていた工業団地にトップ企業3社の進出が決定、平成19年より一部操業を開始しました。今後数年で全面操業する予定です。

企業からの税収により自主財源の大幅な増額が見込まれ、本村住民も32人が採用され、若者の働く場所も確保されました。社員の村への定住が確保できれば、人口の増加も見込まれます。

今後

残り9[㍔]に、平成20年度内に進出する企業が建設工事を始める予定です。村長は、第二工業団地の構想も練っています。

関屋工業団地企業視察を実施

今後の事業拡大に期待

関屋工業団地C区画(約13・7畝)に新たに3社が進出し操業を開始したことから、12月12日、議員全員で工業団地4社の企業視察を行いました。

工場内は事務所のよう静か

キヤノン電子株式会社 赤城事業所



キヤノン電子(株)

主にレーザープリンタを国内向けと海外向けに製造しています。工場内は非常に静かで、電動ドライバーの音と、時折通る電動フォークリフトの音以外、何も聞こえません。

製造ラインもコンベア方式ではなく、一人一人が責任をもって組み立てていくセル生産方式であり、柔軟な対応がとられています。ものを作っている実感する職場です。

生産した電子材料は世界中のパソコンで使用

味の素ファインテクノ株式会社 群馬工場



味の素ファインテクノ(株)

現在、群馬工場は仮操業中で、従業員も数十名、来年度からの本格操業に向け、現在は準備段階とのことです。味の素(株)グループにおけるファインケミカル

事業の中核を担う企業で、群馬工場では、世界に先駆けて開発したプリント配線板用層間絶縁フィルム用のワニスを製造しています。

環境保全意識の高い企業

藤森工業株式会社 昭和事業所



藤森工業(株)

生産品目は大きく2種類であり、その1つに、味の素ファインテクノ(株)が製造したワニスを原料とした、ミクロン単位の絶縁フィルムがあります。製造過

程で使用する有機溶剤を回収する施設には、周辺の環境保全を十分に配慮し、一般的には5億円ほどでできる施設に3倍強の費用を投じました。

電子材料も新鮮便

佐藤運送株式会社 昭和インター営業所



佐藤運送(株)

昭和インター物流センターには、冷凍倉庫2,280㎡が1棟、ドライ倉庫5,841㎡が1棟があり、味の素ファインテクノ(株)・

藤森工業(株)で製品化された絶縁フィルムなどを冷凍庫で保管。輸送する業務を行っています。

教育施設巡回調査

12月12日に議員全員で、村内4つの小中学校と学校給食センターの巡回調査を行いました。

東小中学校は、施設設備ともに大変充実していました。

南小中学校は、強風や長雨により体育館の屋根で雨漏りがすることでした。

大河原小中学校は、もうすぐ30年を迎える校舎ですが、大変きれいな校舎です。



大河原小中学校体育館

に使われていました。児童数が少ないため一人当たりの利用面積が広く、余裕のある教育が可能で、児童の成績にも成果が表れているとのことでした。

昭和中学校は、校庭東側が低いので本格的に整地の必要があるとのことでした。

学校給食センターでは、中学生と同じ量の給食を試食させていただきました。メニュー



学校給食を試食

は、ご飯、なめこ汁、サバ塩焼き、豚肉と切り干し大根のうま煮、野沢菜漬でした。味は良くおいしくいただきましたが、中学生が一番多く残すメニューとのことでした。調理場や冷蔵庫、他の施設も衛生的に管理されていました。巡回中、どの学校の児童・生徒も、きちんとあいさつしてくれ、ことが印象に残りました。

5町村が視察に

10月、11月の2か月間に5町村議会から視察があり、勉強の機会を得ることができました。

10月16日	福島県西会津町議会(農業振興について)
10月26日	福島県鏡石町議会(自立のまちづくりについて)
11月15日	福島県大玉村議会(広報編集特別委員会(議会だよりについて)
11月20日	埼玉県毛呂山町議会(議会だより編集委員会(議会だよりについて)
11月30日	岩手県軽米町議会(自立のまちづくりについて)

横浜市との交流に関する要望書を提出



11月22日に、自由民主党横浜支部連合会を訪問し、佐藤茂幹事長に「横浜市との交流に関する要望書」を手渡しました。市連側から要望事項1つ1つに対する対応案が示され、大変前向きに検討していただきました。今後、両市村の友好交流の実現に向けて具体的な案づくりに入ります。

中学生模擬議会



11月6日、第3回目となる中学生模擬議会が、役場議場において行われました。

昭和中学校3年生17人が議長、議員役として参加。そのほかの3年生も、質疑、答弁の様子を傍聴し、議会を体験しました。

議長



関上伸之輔くん
(入沢)

感想

模擬議会の議長をするという事で、始める前はとても緊張していましたが、実際に始まってみると、落ち着いて会議を進めることができました。いろいろな昭和村の取組について知ることができて、とても勉強になりました。また参加してみたいと思いました。

議長



野上 愛菜さん
(鎌沢)

感想

一生のうち、もう二度と座ることのないであろう議長席に座らせてもらい、議長という役目を務めさせていただきました。1つ1つの言葉は難しく、淡々とした態度をとるのは性に合っていない感でしたが、とても良い経験ができました。

問

答



新木 潤くん
(中宿)

公民館図書館の活用の実態と利用者への啓発方法を教えてください。

18年度の年間利用者数は635人で1,747冊。希望図書アンケート調査や、「広報しょうわ」で新しい図書の紹介を

感想

行っています。

模擬議会に参加して、議会のことが分かったのが良かったです。自分の意見を村長さんたちに質問ができて、知れたかったことが分かりました。また、他の人の意見を聴き、昭和村の行っている事が分かったのいい経験になりました。

問

答



後藤 彩さん
(滝寺)

昭和村における不審者の実態と対策は。

県内では10月上旬までに357件、うち利根沼田管内

感想

7件、村内0件です。防犯ブザーの携帯、朝の声かけ運動、青少年育成推進委員や地区のボランティアによるパトロールなど行っています。

模擬議会に参加する前は、「間違えたらどうしよう。」と不安でしたが、そんなに緊張しなくて、間違えることもなかったのが良かったです。それに、質問した内容についても、丁寧に分かりやすく答えていただいたのでうれしかったです。模擬議会はとても良い体験になりました。





林 英理奈さん
(中野上)

問

クリケット場建設を決めた理由と、目的・利用について教えて。

答

世界的にはサッカーに次ぐ競技人口第2位のメジャーなスポーツ。外国人選手との交流が増え、文化交流や語学学習も可能。国際大会の誘致なども進める計画です。

感想

議会の雰囲気や緊張感を初めて知り、驚いたり不思議に思ったことがたくさんありました。私の人生ではできなかったと思う貴重な体験ができ感謝しています。村長さんと教育長さんが丁寧に1つ1つ答えてくれましたが、私には理解できない言葉があったので、言葉の意味をよく知った後、もう一度質問を試してみたいです。



宮内 綾くん
(中野下)

問

粗大ゴミ等の不法投棄の実態と対策は。

答

年々減少していますが、年に2〜3回、不法投棄の処理を行っています。

感想

模擬議会を通して、村の決め事は議会を開くことで決められることが分かりました。めつたにできない体験だったので、とても勉強になりました。村長さんはじめ役場の皆さん、本当にありがとうございました。



綿貫 千優さん
(下宿)

問

小・中学生の医療費無料化への取組は。

答

入院だけでなく通院の医療費も中学校卒業まで無料にするか検討中です。

感想

模擬議会に参加できてよかったと思います。なぜなら、普段できないような体験ができたからです。さらに、昭和村をよりよくするための様々な政策を知ることができて良かったです。これからも、昭和村のことについて関心を持ちたいです。



林 和くん
(池原)

問

中学生のためのスクールバス運行の考えは。

答

関係者と話し合いをしながら、検討したいと思っています。

感想

この模擬議会に参加して感じたことは、日本は直接民主制ではなく間接民主制なので、代表者が話し合って決める政治なので、当然代表者に責任が多くかかります。そのことを身をもって体験できたので良かったです。また、民主主義政治は、こうしてやっているんだなと思いました。



石井 智章くん
(鎌沢)

問

自然災害などへの対策は。

答

地域防災計画の保全・育成等により災害防止に努めています。横浜市や取手市と災害時相互応援協定を締結しています。

感想

模擬議会に参加してまず感じたことは、とても緊張感のある場所だということです。実

際に村長に質問すること、今まで一度もありませんでしたので、どんなふうに質問に答えてくれるのか楽しみにしていました。



諸田 佳祐くん
(入沢)

問

農業発展、商業振興への取組は。

答

多様なニーズに適応した生産基盤、販売体制の確立に向けた新たな取組が必要と考えています。商工会育成事業の補助及び産業青年海外派遣事業を実施しています。

感想

村長さんと教育長さんに質問するのは、とても緊張しました。模擬議会に議員として参加することで、住んでいる昭和村のことをより深く知ることができたので、昭和村を今以上に身近に感じることができるようになりました。

りました。



小野 大地くん
(宿)

問

道路整備への取組を教えてください。

答

県道3路線、村道1、166路線あります。交通安全対策を考えた道路整備が重要で、地域の皆さんに協力していただく道路愛護や除雪作業、道路補修等により、安心して通行できるように取り組んでいます。

感想

模擬議会の議員となり、とてもいい経験ができました。村の様々なことについて詳しく答えてくれたので、村のことをよく知ることができました。リハール中は、質問の仕方を丁寧に教えてもらい助かりました。とてもいい体験ができるので、これからも続けてほしいと思います。



高塩 脩平くん
(上内出)

問

少子化対策について教えて。

答

各小学校に学童保育所を設置。保育園では一時保育、低年齢児保育、延長保育を実施するとともに子育て支援センターを開設しています。

感想

一日議員になって、とてもよい体験ができました。普段入ることのない議場に入ったり、意見の発表ができて、今後もし、ぼくが議員になったときの参考になりました。また、村の政治を行っている人と議論ができてよかったです。



齋藤 留衣さん
(常木)

問

児童・生徒減少に伴う小学校3

校の統合についての考えは。

答 現時点では統合は考えていません。

感想

模擬議会に出て、すごく緊張しました。でも、緊張した分、学んだことがあります。それは、自分の意見を発表することです。私は、質問を1回しかしなかったけど、みんなの質問を聞いて、もう1回質問すればよかったなと思いました。丁寧に質問に答えてくれて、分かりやすかったです。



林 太一くん
(吹張)

問

中学生海外派遣事業のほかにも国際交流事業を行っているのか。

答

産業青年海外派遣事業、ホームステイの受入れ、小学生のインターネットに

よる国際交流など行っています。

感想

模擬議会に議員として参加して、とても貴重な体験をすることができました。普段は縁のない本会議場へ行き、実際に質問するのはとても緊張したけど、同時に大きな達成感を得ることができました。この気持ちを大切にして、これからの生活に生かしていきたいと思っています。



加藤 健吾くん
(上内出)

問

税源移譲は、村の財源にどのようにつながっているのか。関屋工業団地企業からの税収は。

答

住民税は増えるが、国からの補助金や地方交付税が減らされ、厳しい財政運営を強いられています。今年度新たに操業

した3社への本格的な課税は、平成20年度からです。

感想

模擬議会に参加することができ、貴重な体験になりました。実際の議会と同じように、村長をはじめ議員の方々も出席されていたのでとても緊張しました。村長さんは僕たちの質問に分かりやすく答弁していただき、村内での税金の使われ方がわかりました。



諸田 李奈さん
(森下中組)

問

温暖化対策について教えて。省エネや森林の保護、ごみのリ

答

サイクルなど村民皆様にご協力を仰ぎながら温暖化防止に努めます。

感想

議会はこういうものなのか、どうすればよいのか、たくさん

安がありました。いざやってみるとそれほど難しくもなく、想像とは全く違うものでした。再質問をするときは、「本当にこの質問をしてよいのか、間違っていたりしないか」と、考えたところもあったけど、村長さんが理解しやすい答を返してくれてよかったです。緊張したけど貴重な経験ができました。

大切な自然をどのようにして保護・維持していくのか。村の森林空間は42%、約2,700畝です。皆さんがこの自然を自慢できるように、できる限り森林を残した開発計画を進めていきたいと思っています。



篠田 涼介くん
(常木)

問

大切な自然をどのようにして保護・維持していくのか。

答

村の森林空間は42%、約2,700畝です。皆さんがこの自然を自慢できるように、できる限り森林を残した開発計画を進めていきたいと思っています。

感想

今まで大人の方に意



見を言う機会がなかったの、かなり緊張しました。しかし、リハールなどさせていただったので、本番はさほど緊張することなくできました。議会に参加し、議員の方々は昭和村をより良い村にしようと、きちんと考えているんだと思いました。とてもいい体験ができました。



すぐる
宮内 優さん
(赤城原第一)

お父さん、お母さん
ありがとう

来年は自分が成人式だ！と言っている去年からみると、1年というのはあつという間で、もう自分たちの成人式となりました。二十歳の誕生日を迎え成人になったけれど、大人の仲間入りをしたという感覚はまだありません。

高校入学と同時に昭和村を離れ、寮暮らしをし、大学では一人暮らしを経験し、生きるということの難しさを知りました。まだ、親に多く甘えてしまうことがある分、気持ち的

には楽かもしれないですが、いつまでもスネをかついては自分自身のためにもならないし、家族に迷惑ばかりかけてしまうので、大学生活を終える頃には進路をはっきり決め、心配をかけないようにしたいと思います。

三男として生まれ、自由に育ってきたせいかホームシックにならなくて済んだが、何歳になっても地元に戻る日はとてもうれしく感じます。自然が多く空気がきれいな昭和村が、これからももっと発展するようにお手伝いをしていこうと思います。

最後に、普段は恥ずかしいので言わないけれど、お父さん、お母さん、ありがとう。



ふみ
平松 芙美さん
(常木)

昭和村を思い出

私が昭和村を離れて、約2年が経ちます。都会とは便利なもので、東京で暮らし始めた今では、歩いて行ける距離に店があり、服でも本でも雑貨でも、欲しいと思ったら何でも

すぐ手に入るということを知りました。そういう生活に慣れた今、改めて昭和村には何もないということを感じます。

私は、この村の刺激のなさが嫌でした。朝には赤城山から陽が昇って子持山へと沈んでいく。毎日毎日、同じ風景の繰り返し。四方を山に囲まれたこの村が、まるで檻のような気さえしました。

でも、時々実家に帰ってくると、住んでいた時には分からなかったものが大切に思えてきました。最近では、空って本当にきれいな青色をしていることや、夜空にはすばらしくたくさんの星があるということに改めて感動させられました。何げなく一緒に過ごしている家族との時間がとても大切なのだということ。ずっと変わらなくてくれるだろうと思っていた両親にも、段々としわや白髪が目立つようになり、刻々と時は流れているんだということを感じるようになりました。

東京にいても無性に帰りたくなることがあるの

は、ここには幼い頃からの思い出があり、大切な人たちがいるからなのだと思います。日々忙しく動きまわる都会に疲れたなら、優しい思い出と、ゆつくりと静かに過ぎてゆくこの場所で、またのんびりと眠ることでしょう。



地域でがんばる人



シリーズ2

倉澤

たかのぶ
公宣さん

(川額)

北関東万屋発動機愛好家

S.L.の復活を見て、子供の頃、脱穀で使った石油発動機のことを思い出し、1台手に入れてみようと思所、親戚、知人等に声をかけ、やっとの思いで1台を手に入れた時のうれしさは、何とも言えない喜びでした。

今から20年くらい前だと思ひます。こつこつと2台、3台と集め、掃除をしては黒くペンキを塗って楽しんでいました。いったん休んでいましたが、再び、今度は動くように修理を始めまし

た。うまくいかず悩んでいたところ、バイク仲間がいろいろな話をしてくれて、ついに1台始動に成功。これがやみ付きになり、次から次へと手がけるようになりました。仲間も増えて、他県の人たちとも交流しており、交換したり分けてもらったりして、今は150台以上あります。暇を見つけては修理し、復活させ、爆音を楽しんでます。

今度、県内の仲間たち10人で群馬発動機愛好会を発足させ、自分たちの自慢の機械が、どこまで低速運転できるか運転会なども行う予定です。

老後、何歳まで発動機を回すことができるか、残す人生を楽しみたいと思っています。



議会の動き

10月

- 26日 ●福島県鏡石町議会行政視察来村
- 30日 ●群馬県町村議会議員研修会

11月

- 1日 ●秋の道路愛護巡視
- 3日 ●村内バレーボール大会
- 6日 ●第3回中学生模擬議会
- 9日 ●議会広報研修会
- 14日 ●広域圏議員協議会定例議長会
- 15日 ●福島県大玉村議会視察来村

- 20日 ●埼玉県毛呂山町議会視察来村
- 22日 ●村づくり対策特別委員会行政視察
横浜市との交流に関する要望書提出
- 22日 ~ 23日 ●昭和村文化祭
- 26日 ●利根沼田学校組合議員協議会
利根沼田学校組合議会定例会
広域組合議会定例会
沼田市外2箇村清掃施設組合議会定例会
- 30日 ●岩手県軽米町議会行政視察来村
町村議会議長全国大会

12月

- 3日 ●議会運営委員会
- 7日 ●第6回昭和村議会定例会本会議
- 10日 ●文教産建常任委員会

- 11日 ●総務民生常任委員会
- 12日 ●教育施設巡回調査
関屋工業団地企業視察
- 14日 ●本会議
- 17日 ●議会広報編集特別委員会

1月

- 6日 ●昭和村消防団出初式
- 13日 ●昭和村成人式
- 14日 ●昭和村新年賀詞交歓会
- 15日 ●定例議長会
広域圏議員協議会
- 16日 ●議会広報編集特別委員会
群馬県市町村トップセミナー
- 23日 ●議会全員協議会

編集室から

村民の皆様にご覧いただける議会だよりを発行すべく、7人の広報委員が心を1つに臨時号を発行してから早くも1年、今回の45号で6回目の発行になります。

新しい企画として、追跡シリーズ「あの問題は今」、「地域でがんばる人」コーナーのページを前号から設け、充実した紙面づくりを目指しております。

各地議会から本村への視察研修もあり、お互い勉強し合える機会も数多く、改めて、親しまれ愛読される議会だよりの制作に力が入ります。

年4回の定例会の度に発行される議会だより。正確で読みやすい紙面をつくるため、各委員が担当したページに誠意を持って頑張っております。ご愛読ください。

高橋昇三 記